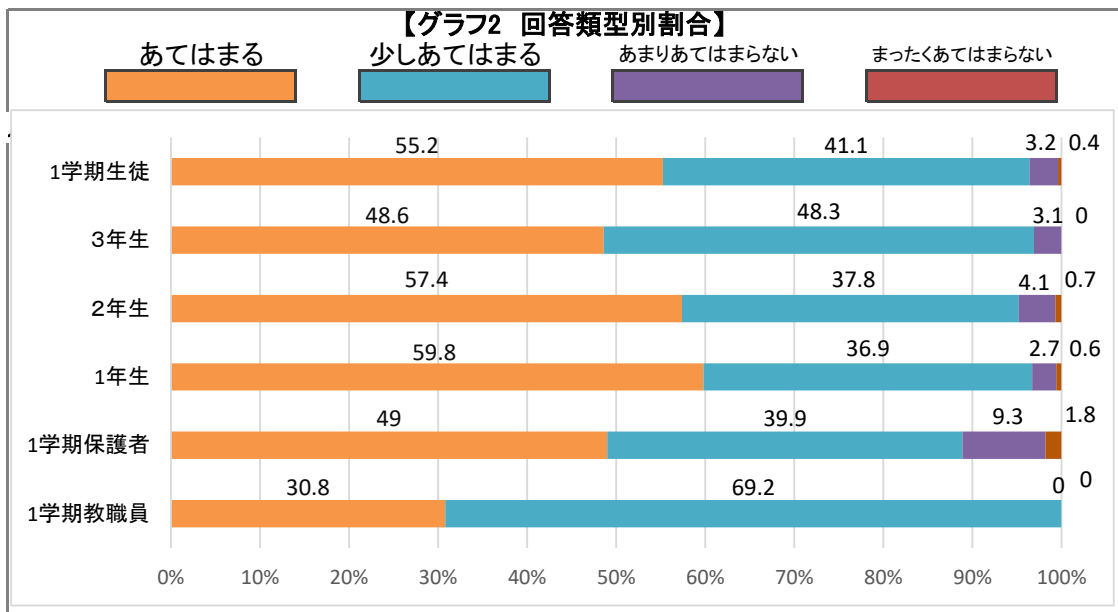
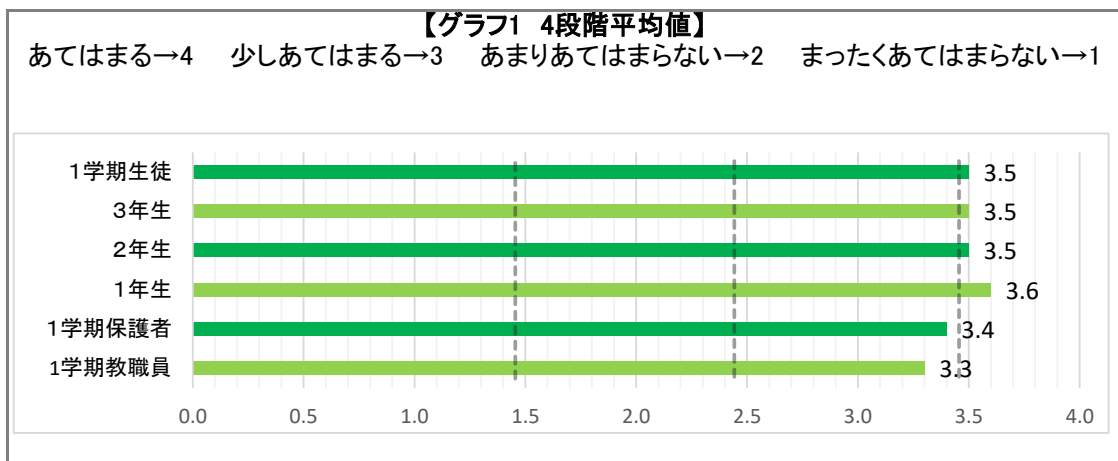


No1	まなび	学び合い
福津市	④ 友達と話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできたか	
中プロ	(共に学ぶ) 友達と共働して考えを練り上げ、課題を解決することができる	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりして課題を解決することができる。	A	→
保護者	お子さんは、友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。(お子さんとの会話から)	B	→
教職員	授業において、子どもが友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりして課題を解決できるように指導を工夫している。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**生徒の評価と教職員、保護者の評価に差がある。日常的には交流活動をし、学習意欲をもたせることができた。教師の「まったくあてはまらない」は0%→教員の交流活動を仕組む意識は高い。

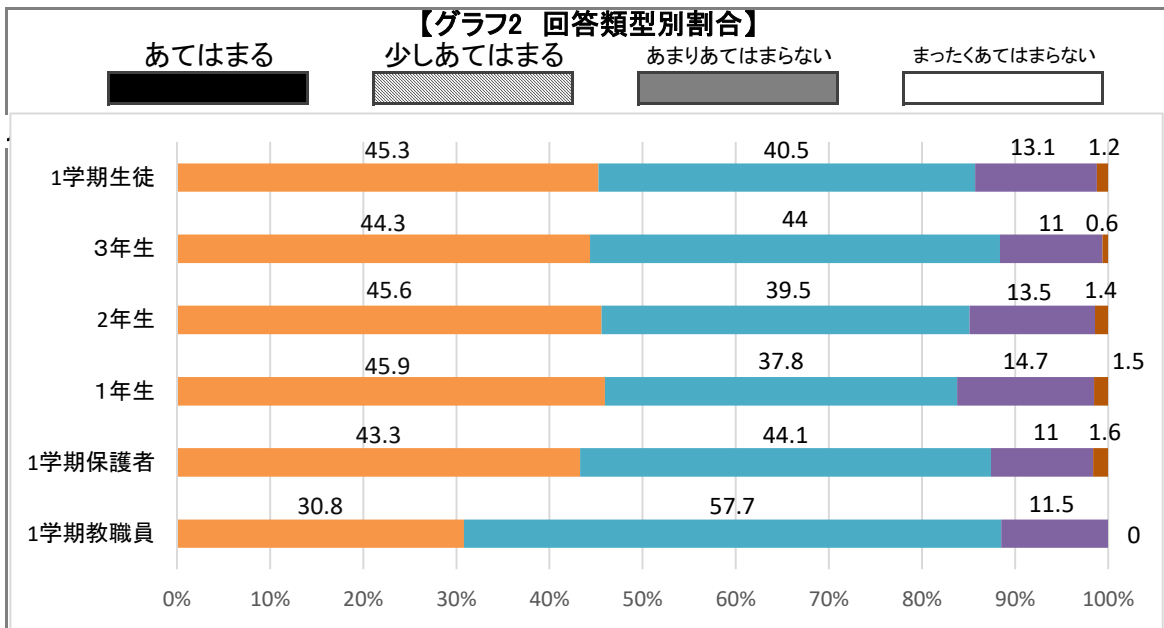
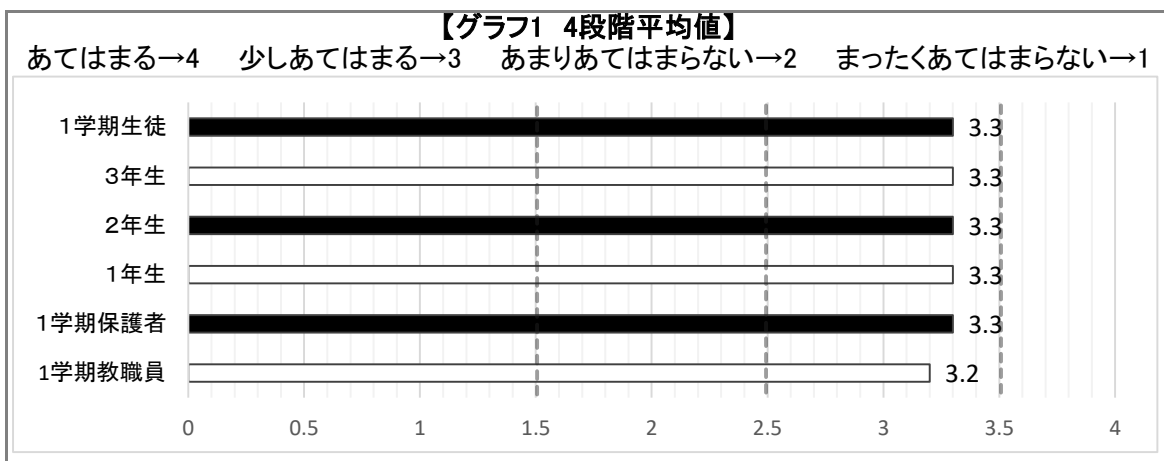
**【課題】**教職員は交流活動の質に関してまだ改善の余地があると考える職員が多いため数値が低く出ている。

**【改善】**話し合い活動のモデルを教科ごとで作る。主体的に交流できるような工夫をし、質の高い交流活動をめざす。「広がる」、「深まる」の段階を徹底していく。保護者や地域の方に向けて校内での交流活動の取り組みを通信等で紹介して知ってもらう。

No2	まなび	家庭学習
福津市	⑥ 平日の家庭学習時間1時間以上の割合	
中ブロ	(自ら学ぶ) 進んで1日70分以上の宿題、予習を含めた家庭学習ができる	

福間中	項目	達成度	
		前	後
生徒	課題意識を持って、主体的に家庭学習(宿題・予習・復習・塾など)を行っている。	B	→
保護者	お子さんが家庭学習(宿題・予習・復習・塾など)を行うように見守っている。	B	→
教職員	家庭学習が習慣化するように各教科の宿題や自学、週末課題などの量や質を工夫している。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**肯定的な回答をしている生徒が多い。教職員は「少し当てはまる」が多い。

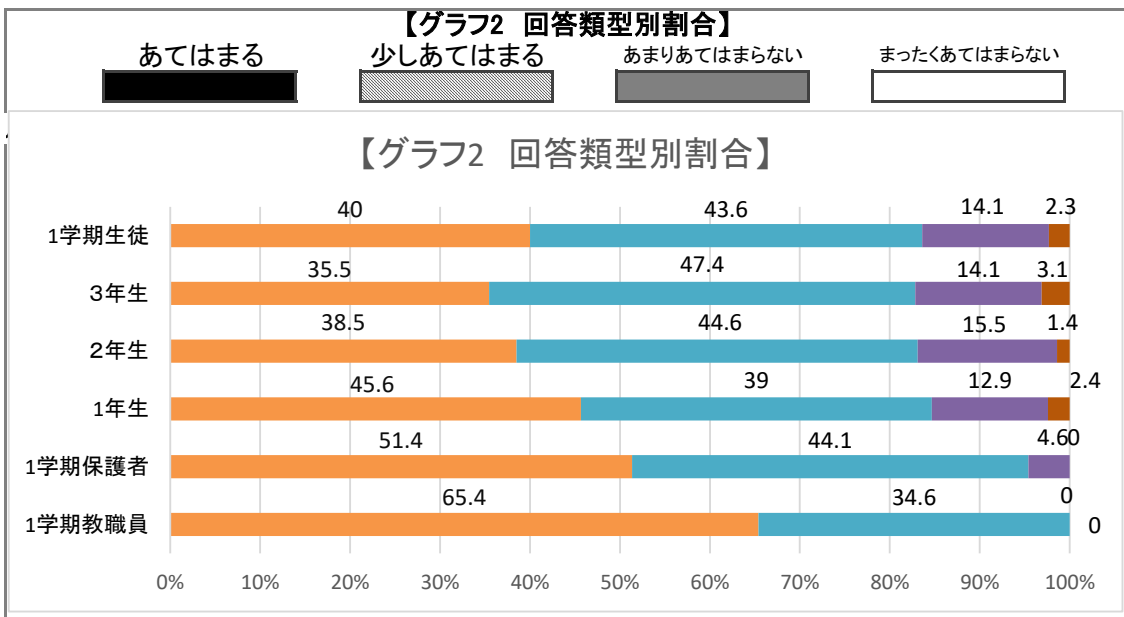
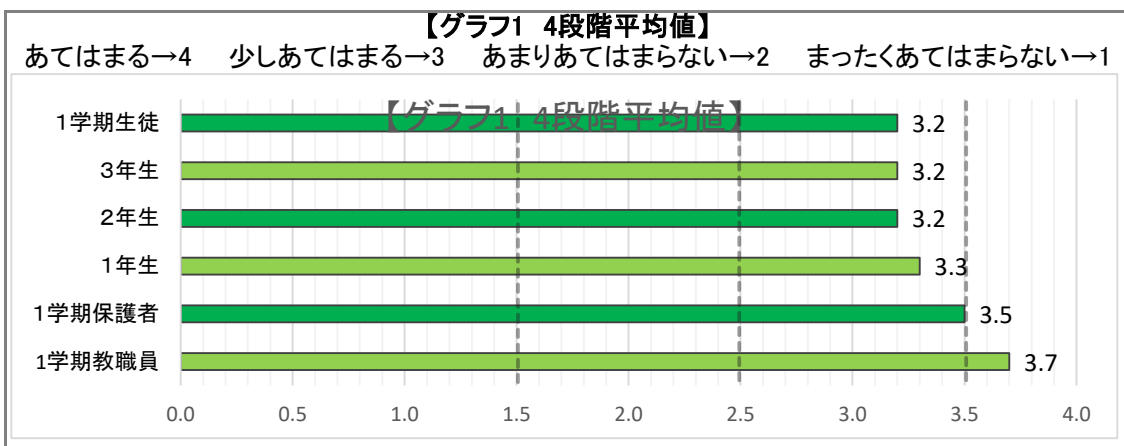
**【課題】**学習課題は学校が出しているの主体的にやっているのかの見取りが難しい部分もある。生徒は何を根拠に自分が主体的に学習しているのかが見えてこない。子どもが目的意識をもって学習に取り組むことができるように教師が支援することが大切。

**【改善】**その日の帰りの会に自学ノートに、何を自宅学習するか理由もつけて書かせる時間を作る。目的意識をもって学習できるように、学習する理由づけをさせていく。学力が低い層の生徒には基礎学力をつける補充学習等を行い自主学習がしやすいようにしていく。

No3	こころ	自尊感情
福津市	① 自分にはよいところがあると思う	
中ブロ	(自信をもつ) 学校生活や地域の活動の中で、自分の良いところを伸ばすことができる	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	自分にはいいところがあり、自分で伸ばそうとしている。	B	→
保護者	お子さんのいいところを褒め、励ましている。	A	→
教職員	生徒を褒めたり、生徒のよいところを伸ばす指導をしたりしている。	A	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**生徒たちは例年と変わらず「B評価のやや上」だが、保護者が上がり「A評価」になった。この差をどうとらえるかだが、本年度前期はコロナによる制限が解除されていく転換期にあたり、生徒達の活動は徐々に再開しているため、大人の意識とのギャップがあったのではないかと考える。

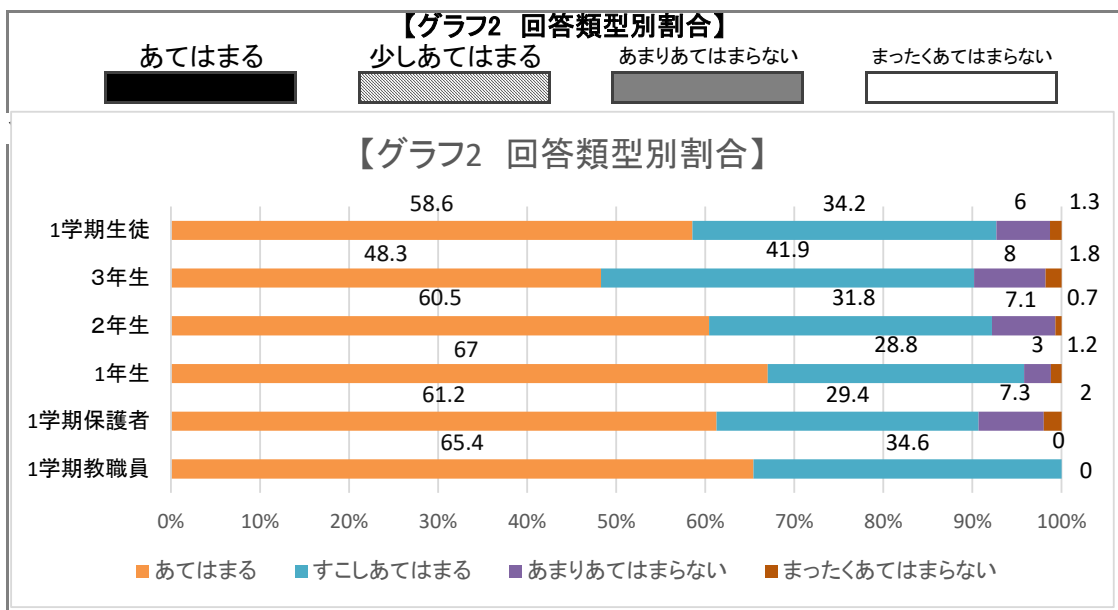
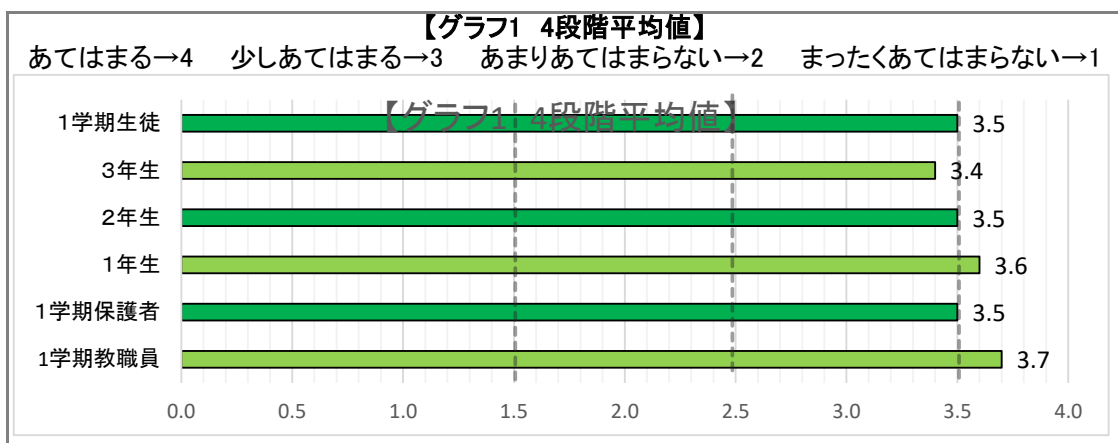
**【課題】**コロナの影響が低下したことにより期待感と活動意欲が増しているため、これから生徒たちが活躍する場を多く設け、それらを自分の意思で参画する形にすることが課題である。

**【改善】**後期は学校行事が多いので、それぞれの取組の中で、学級のまとまり、生徒会による活性化、部活動での目標の設定など、生徒たちが熱中するしくみを作っていく。その過程で、周りの大人が肯定的な評価を言葉や態度で伝えるよう、学校運営協議会やPTAで、大人同士が共通理解をしておきたい。

No4	こころ	学校生活の充実
福津市		／
中ブロ		／

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	学校での生活は楽しい。	A	→
保護者	お子さんは学校での生活を楽んでいる。	A	→
教職員	生徒が充実した学校生活を送れるように指導を工夫している。	A	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**コロナ禍で、昨年度3者ともB評価だったものが、本年度前期は3者ともA評価になった。生徒達が、学校を楽しんでいると感じてくれていることは、教員にとって大きな励みになる。コロナ禍で今までできなかったことが、できるようになったことは、満足感を更に増幅させていると思われる。

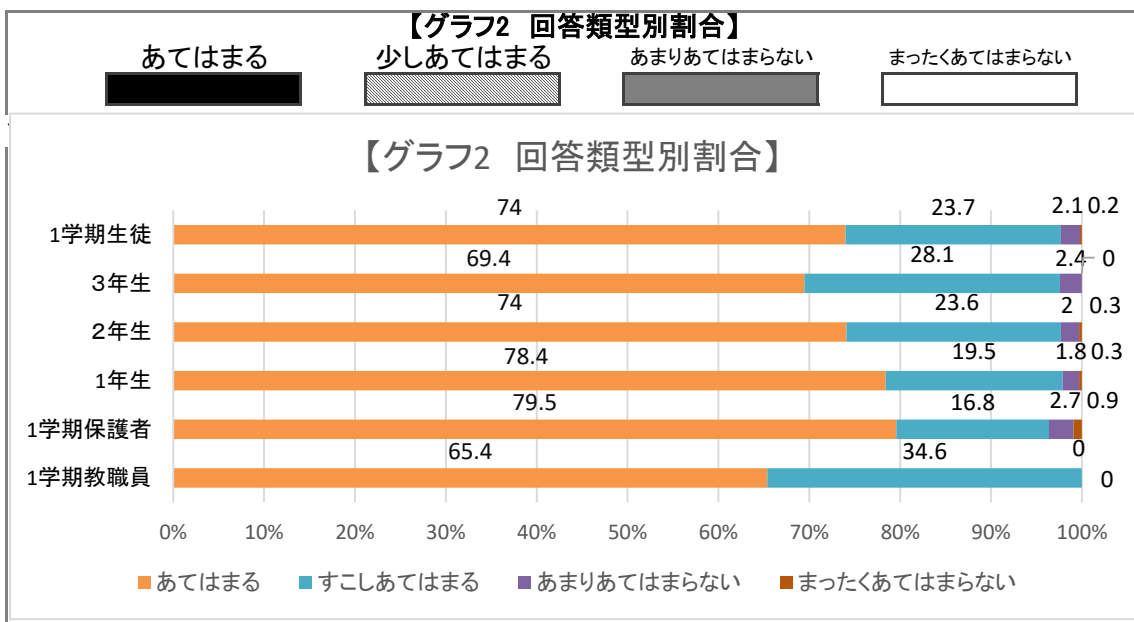
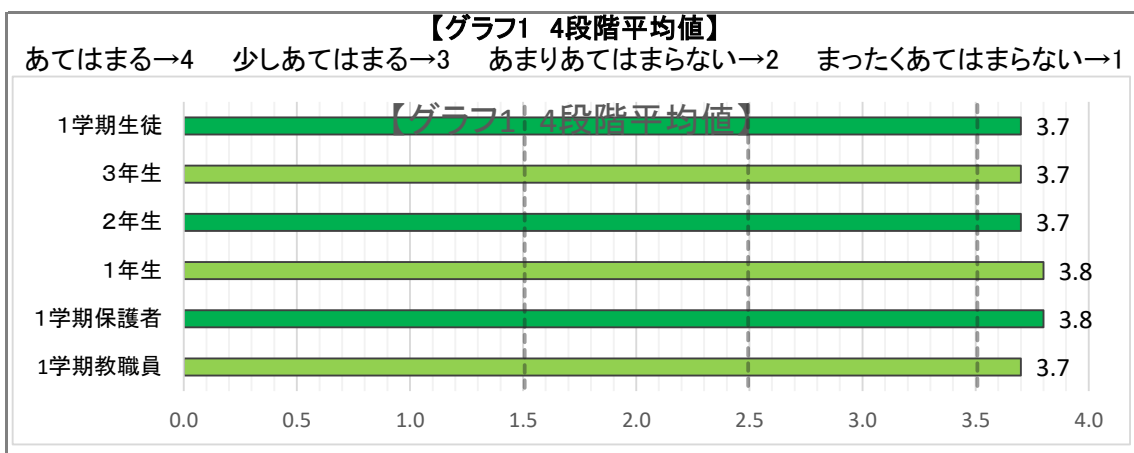
**【課題】**コロナによる制限にかわって、福間中では過大規模化による制限が出てきているので、生徒たちが不満足や不利益を感じないようにすることが課題である。

**【改善】**多くの生徒が一堂に介しての学校行事、多くの生徒を引率しての旅行的行事等、それぞれの目的を考え生徒の充実度が上がるよう、全員そろっての一体感は大切にし分散した方が満足度が上がるものは工夫し、コミュニティスクールの機能を活かして、常に多くの大人がかかわる学校生活を実現していきたい。

No5	こころ	規範意識
福津市	② 学校のきまり(規則)を守っている	
中プロ	/	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	学校のきまり(時間や服装・頭髪など)を守っている。	A	→
保護者	お子さんは学校のきまり(時間や服装・頭髪など)を守って生活している。	A	→
教職員	学校のきまり(時間や服装・頭髪など)を守るよう日常的に指導している。	A	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**3者ともにA評価で、規範意識は高い。昨年度、校則の改定を生徒たちの話し合いで行い、自ら決めた服装や頭髪の規定を、自ら納得して守っている。チャイム着席や登下校の時間も、自律的に守れている。良い状態だと言える。

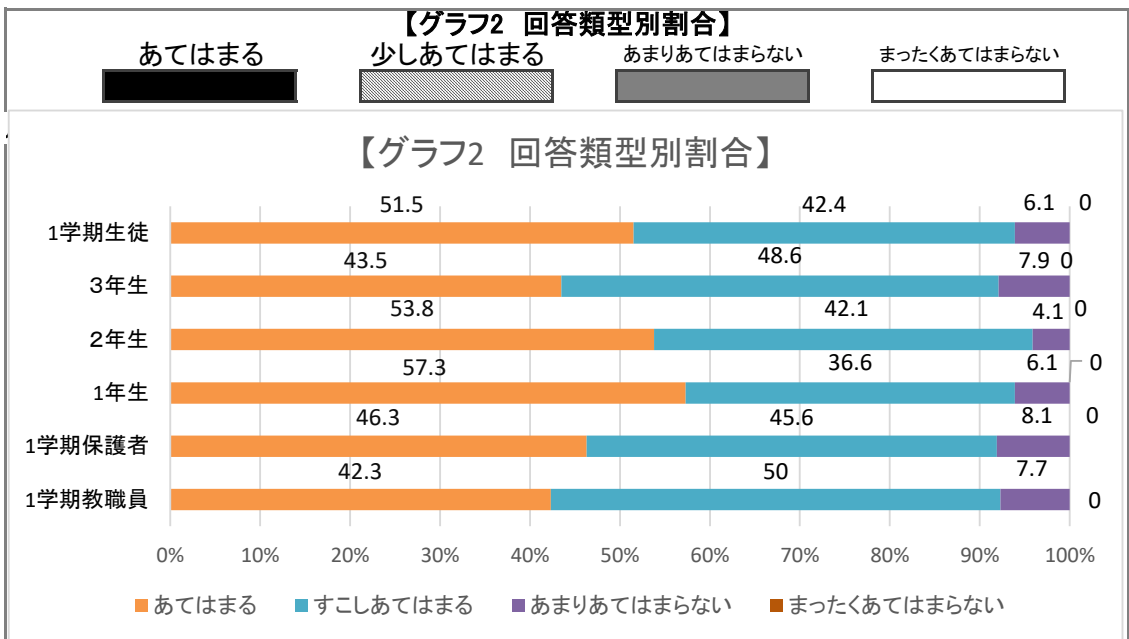
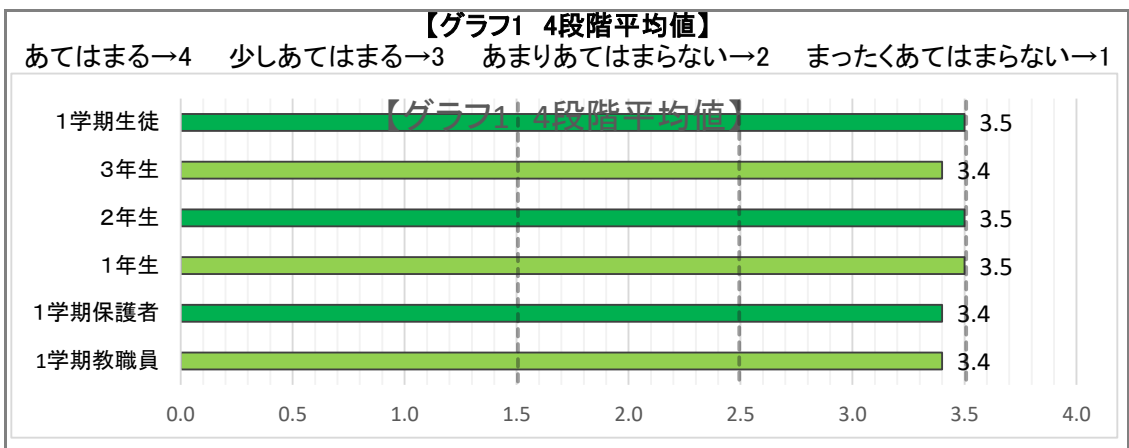
**【課題】**生徒が自主的にルールを守る態度を身につけるように、教師が危機管理意識を持ち、継続した指導を行っていきたい。

**【改善】**「5つの誓い」(時間・掃除・公共物・仲間・言葉遣い)を受け継いできたこと誇りにして、守っていく空気感を、生徒会を中心に保っていきたい。生徒総会の時のみならず、1年を通して意識させていきたい。

No6	こころ	あいさつ
福津市	／	
中ブロ	(関わりを広げる) 挨拶の意義を理解した上で先生や友だち地域の方に進んで挨拶をしている	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	先生や友だち、地域の方に進んであいさつをしている。	A	→
保護者	お子さんは、先生や友だち、地域の方に進んであいさつをしている。	B	→
教職員	生徒が先生や友だち、地域の方に進んであいさつをするよう啓発指導をしている。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



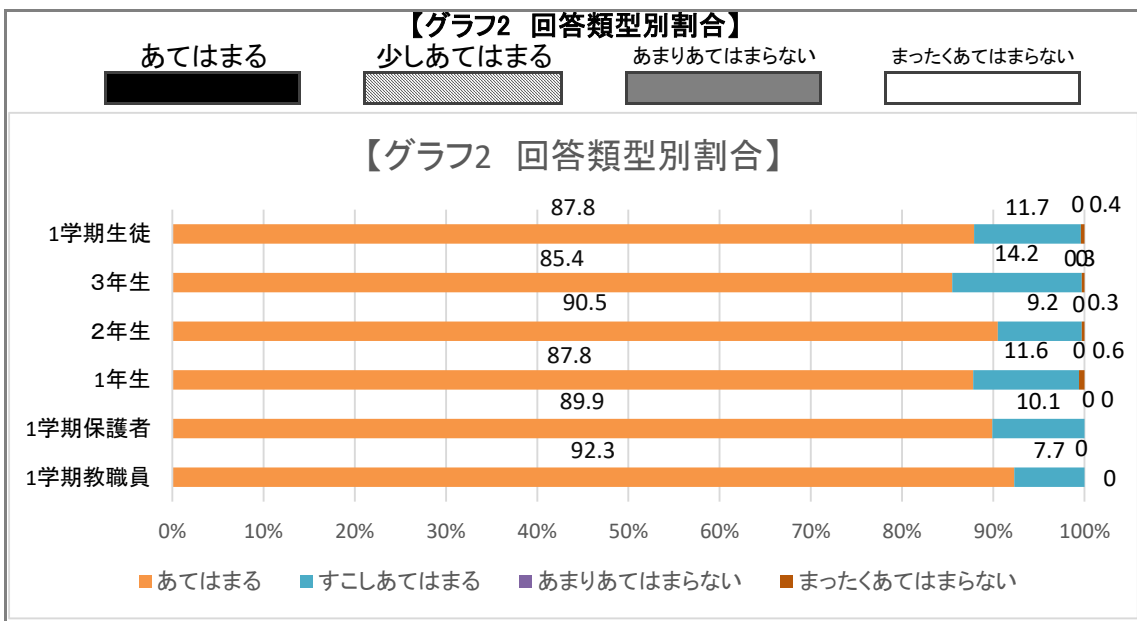
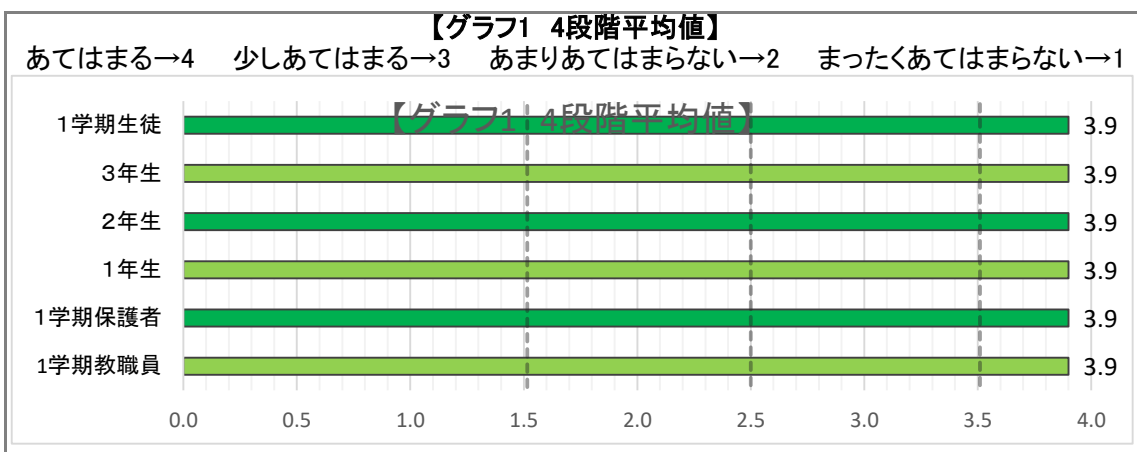
**【結果・課題・改善】**

**【結果】**昨年度は3者ともB評価だったが、今年度前期は生徒がA評価になった。  
**【課題】**昨年度同様、意識は十分あるが学校全体の課題としてまだまだ良くしていこうと取り組んでいくことが大切である。  
**【改善】**道徳の時間にあいさつの意義について考えさせたり、学級活動や部活動でもあいさつ励行に力を入れたりしていきたい。また、生徒会の取組である毎週水曜日の「あいさつ運動」を今後も続けていきたい。また学期始めの小中の教職員による「3校あいさつ運動」も改善していきたい。

No7	こころ	人権尊重
福津市	⑤ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	
中ブロ	／	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	A	→
保護者	お子さんに、いじめはどんな理由があってもいけないことだと話をしている。	A	→
教職員	生徒に、いじめはどんな理由があってもいけないことだと指導している。	A	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**ほぼ全ての生徒が「いじめはあってはならない」と思っており、意識は高い。ただ、実際は起こっており、意識と行動のギャップがある。

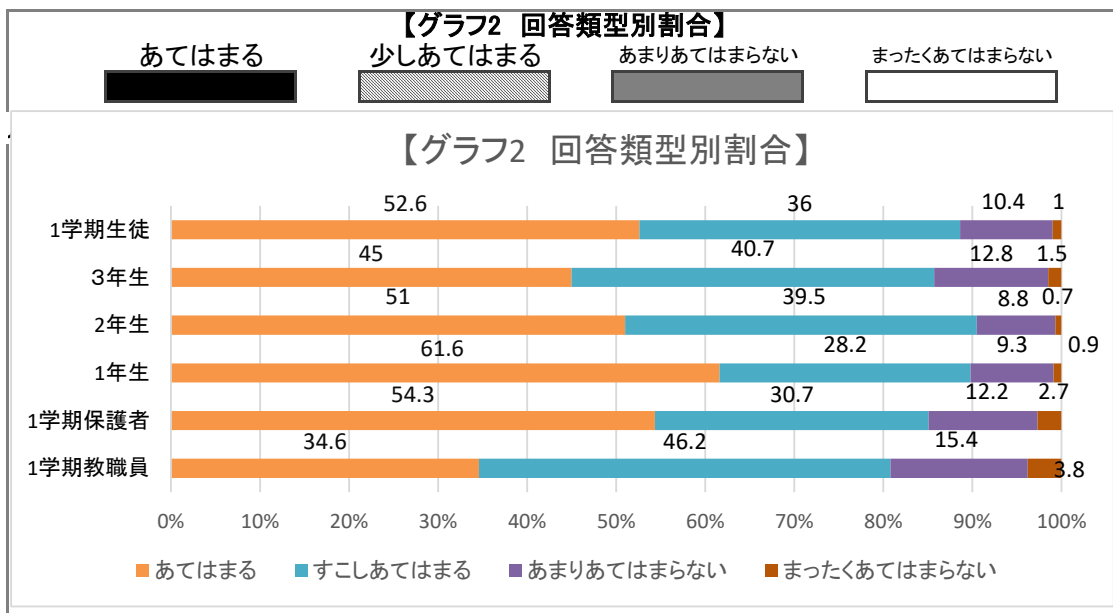
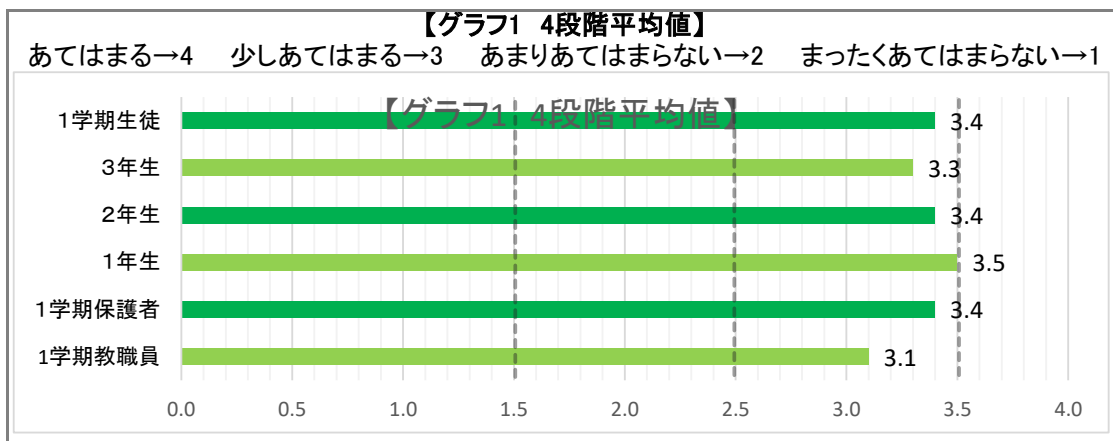
**【課題】**「学校いじめ防止基本方針」を基盤として、生徒指導委員会を中心に、「いじめを生まない環境づくり」を心がけ「未然防止」に努めたい。また、「いじめは起こる」ことを前提に「早期発見・早期対応」にも努めたい。

**【改善】**人権学習や道徳の時間を通して、社会で起きている人権問題に目を向けさせ、他者を尊重する気持ちを身につけさせていきたい。また「福まねき人権宣言」を受け継いできたこと誇りにして、守っていく空気感を、生徒会を中心に保っていきたい。生徒総会の時のみならず、1年を通して意識させていきたい。

No8	からだ	体力向上
福津市	／	
中プロ	(強い体をつくる) 自ら課題を設定し、目標に向かって運動に取り組むことができる	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	体育の授業や部活動、社会体育などで、自ら課題を設定し、目標に向かって運動に取り組んでいる。	B	→
保護者	お子さんは、体育の授業や部活動、社会体育などで、自ら課題を設定し、目標に向かって運動に取り組んでいる。	B	→
教職員	体育の授業や部活動、社会体育などで、自ら課題を設定し、目標に向かって運動に取り組むよう指導している。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**前年度と同じく、生徒、保護者、教職員ともに、Aに近いBであり、概ね目標を達成している(昨年度より若干数値が低くなっている)3年生のあてはまるの回答が低くなっている。これは、9月にアンケートを実施しており、3年生は部活を引退したこと、2学期はじめの授業は保健の授業を進めていたことも関わっているのではないかと考えられる。

**【課題】**教職員の達成度がほかの項目に比べて低い。体力向上については、運動部顧問の先生や保健体育科の教員だけでなく、職員全体で取り組むべき課題である。

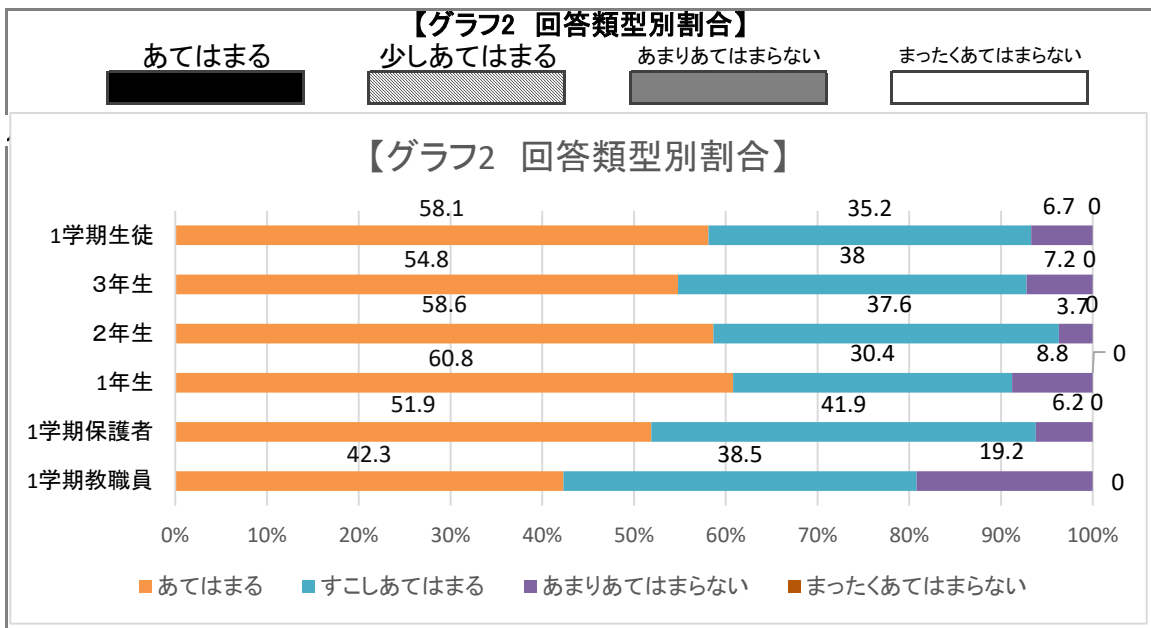
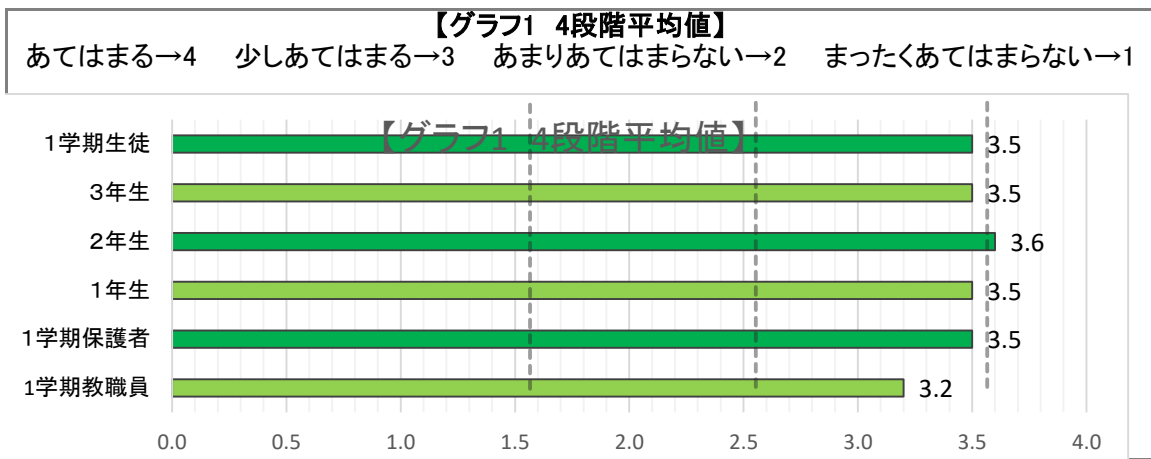
**【改善】**生徒会の取組(体育祭やコンクール)やクラスマッチなどを一部の教員、生徒で行うのではなく、教職員全体で取り組んでいくようにする。 具体例:①分掌割を作成し、学年職員全体で運営にあたる。②教員も参加し、生徒と一緒に体を動かす企画を考える。



No9	からだ	食生活
福津市	③ 毎日朝食を食べているか	
中ブロ	(健康な体をつくる) 好き嫌いせず、食事を通して健康な体と心をつくることのできる	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	食事を通して健康な体づくりを行っている。	A	→
保護者	お子さんに、朝晩の食事をバランスよくとらせている。	A	→
教職員	生徒に、食事を通して健康な体づくりを行うように指導している。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



【結果・課題・改善】

【結果】質問の内容を見直すことで、全体的に高い評価を得ることができた。(生徒・保護者A)教職員については質問内容を変更したが、あまり変化が見られなかった。

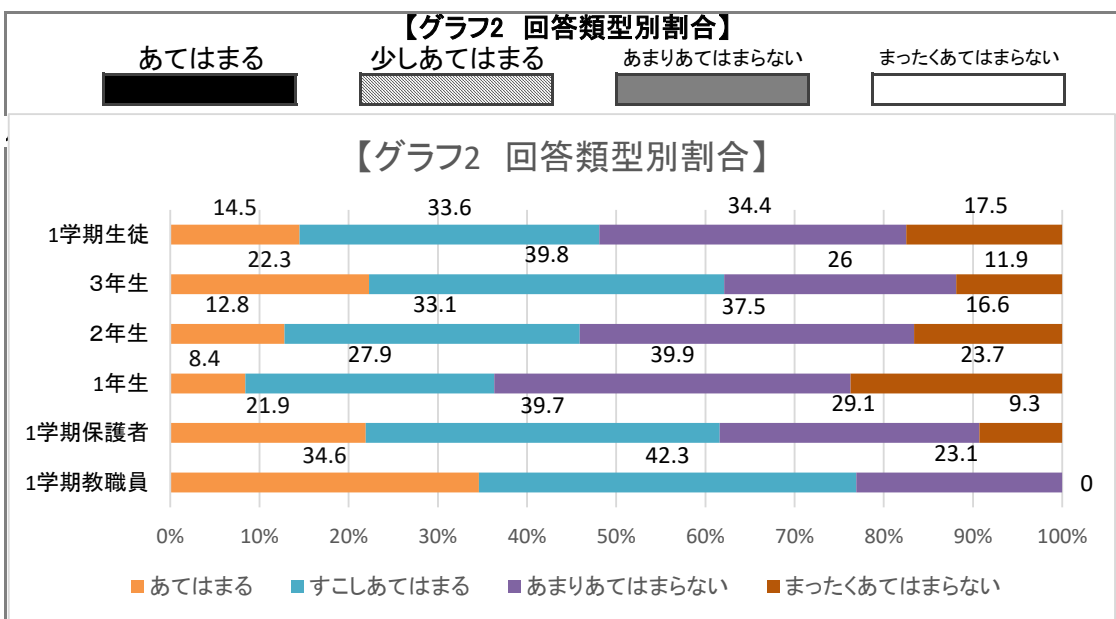
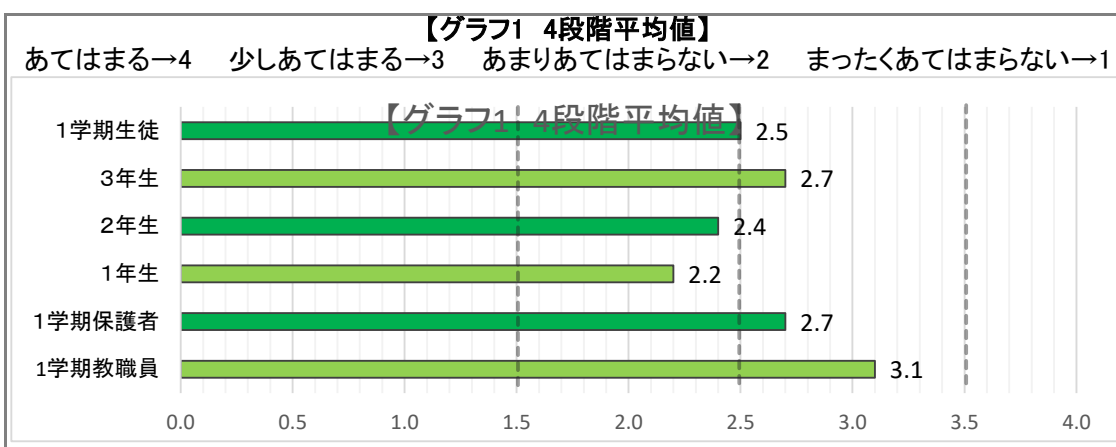
【課題】教職員の数値が低い。食育に関する指導を教職員全体で意識を高め、行っていく必要がある。

【改善】弁当の日などの行事や道徳科の授業などで食育を推進し、学校全体で食に関する指導を行う。その際、生徒に指導する前に教職員全体で、指導内容の共通認識を図り、学校全体で取り組むようにしていく。

No10	家庭地域	地域参画
福津市	／	
中ブロ	(貢献する) 地域のために貢献することができる	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	A:学校主体のカリキュラム、B:福まねきボランティア活動、C:全校に呼びかけ集まった生徒が主体的に行う活動のいずれかに、主体的に取り組んでいる。	B	→
保護者	お子さんは、A:学校主体のカリキュラム、B:福まねきボランティア活動、C:全校に呼びかけ集まった生徒が主体的に行う活動のいずれかに、主体的に参加している。	B	→
教職員	松林清掃などを通して、地域貢献の意義について指導している。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**本年度は生徒への質問文を「地域のために貢献しているか」から「いずれかの活動に主体的に取り組んでいるか」に変えたが、1年生が低かった。活動がまだ少なかつたためだと考えられる。保護者への質問文は、子ども達の活動の具体例を示して問う形に変えたため、上がってきた。

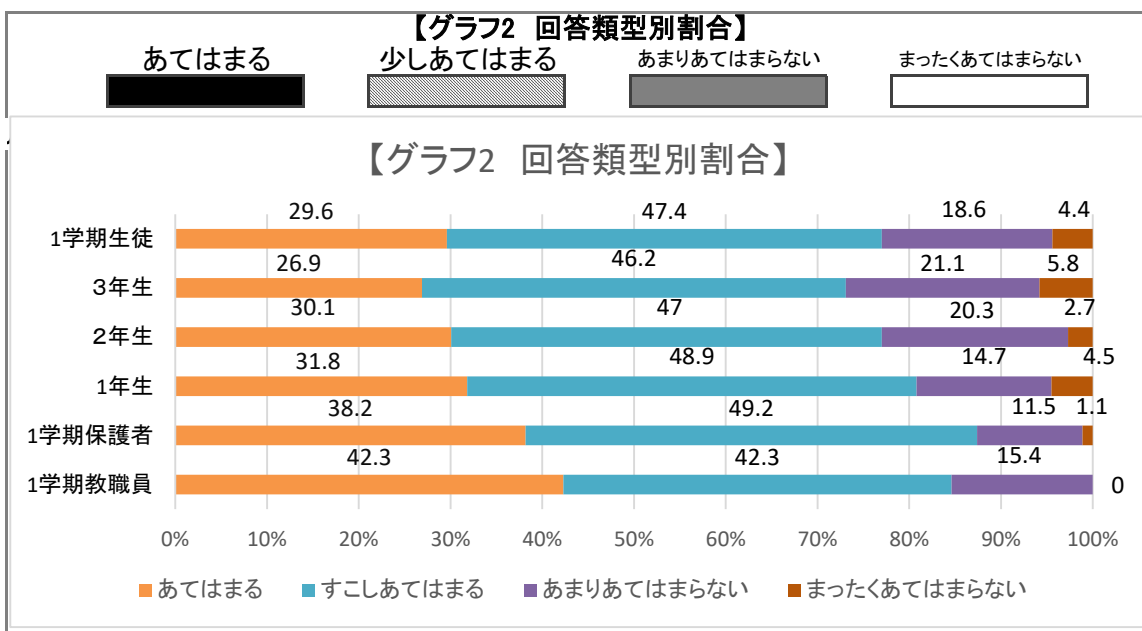
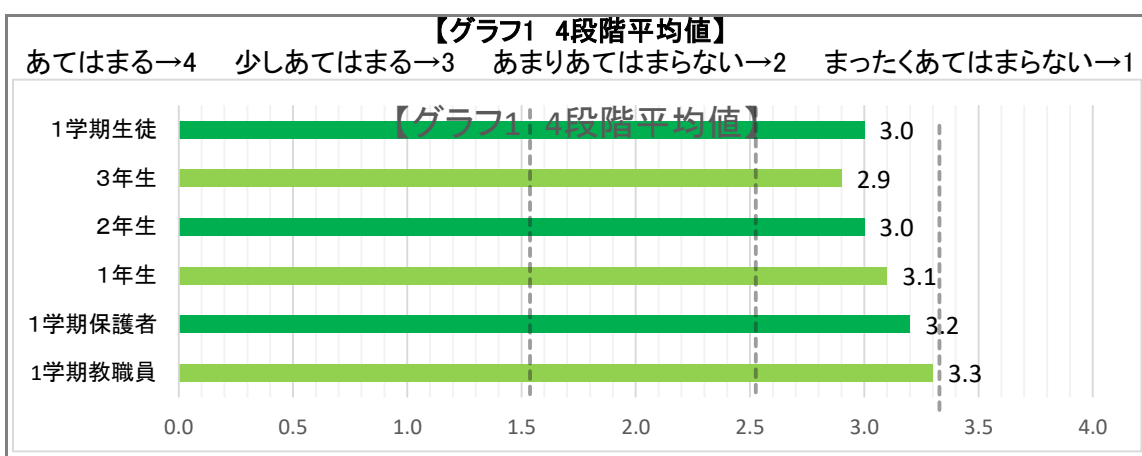
**【課題】**これから学校主体のカリキュラムが次々に実施され、福まねきボランティア活動に1年生が参加するようになり、部活動を卒部して余裕ができた3年生も参加するようになるので、学校全体で地域活動に取り組むムードが高まっていくことを期待したい。前向きなムードで生徒達が背中を押されるよう、親や教師が声かけしていくことが課題である。

**【改善】**後期は、生徒会主催の登校時のゴミ拾い活動、地域活動推進委員会から提案される新たな活動、などの実施を周りで応援していきたい。

No11	地域家庭	地域への関心
福津市	⑦ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか	
中ブロ	/	

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	B	→
保護者	お子さんと地域や社会で起こっている問題や出来事などについて話をしている。	B	→
教職員	生徒が地域や社会で起こっている問題や出来事について、関心をもつように指導している。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**社会(地域)問題に関心のある生徒もいるが、個人差が大きく、関心の低い生徒もかなりいる。ただ3年生は未来会議後に関心を深め、地域の課題を「自分ごと」ととらえて意欲的に企画書発表会を行い、大きな変容が見られた。今回のアンケートは未来会議前に行ったアンケートであるため、3年生に低い数値が出ていると思われる。

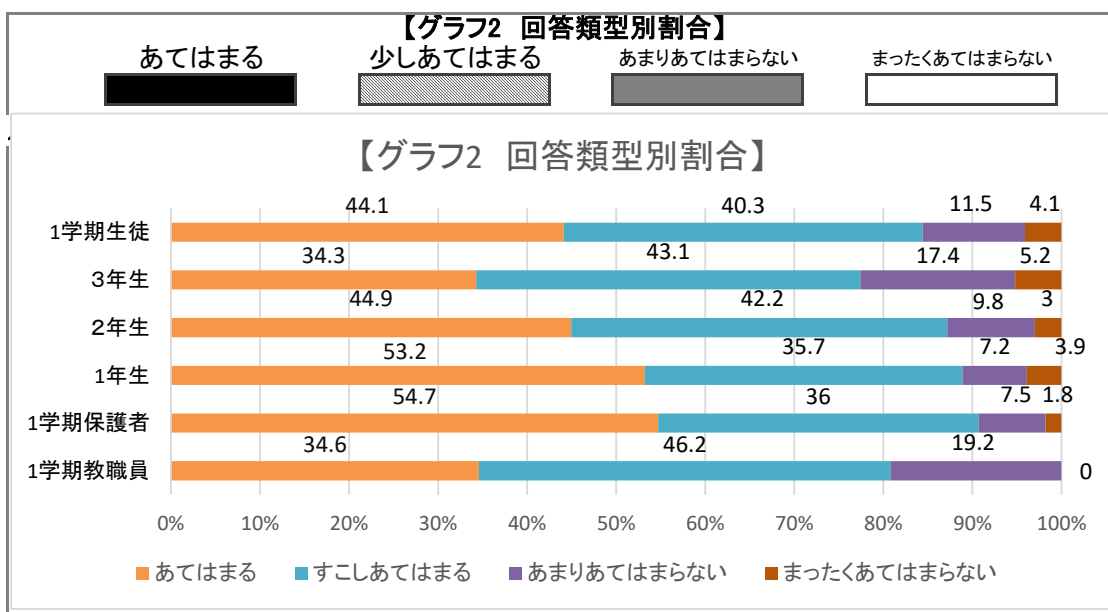
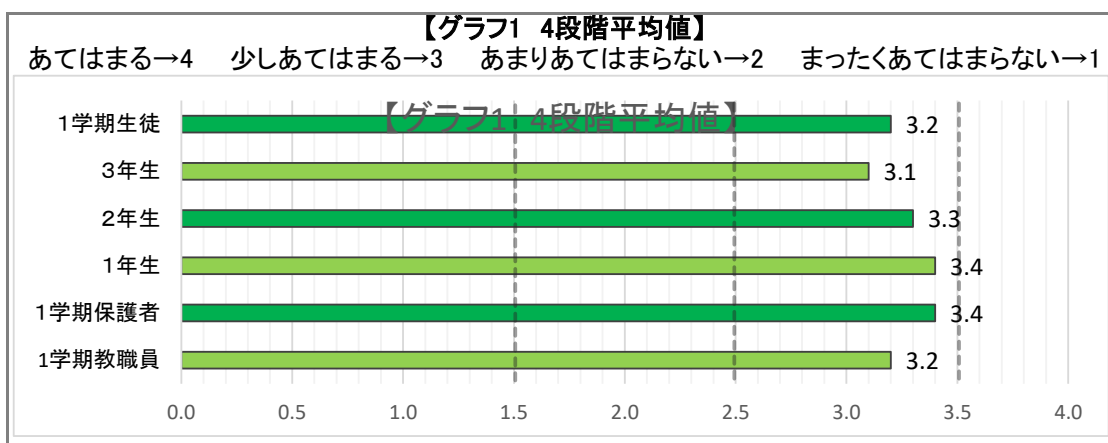
**【課題】**質問文にある「地域や社会で起こっている問題や出来事」の具体的なイメージがつかみにくいため、具体的な例を付け加えることを検討したい。

**【改善】**未来会議は、地域にある課題に向き合う取組なのでこの項目の改善に効果的であるため、3年生が文化祭で発表したり、モニターテレビのスライドショーを校内で常時ながすなどして、1～2年生と共に、全学年で未来会議の内容を共有したい。地域や社会に関心を持たせるには「しかけ」が必要なので、校内に自由に手に取れる資料やパンフレットを置いておくコーナーの設置も検討したい。

No12	家庭地域	SNSとの関わり
福津市		/
中ブロ		/

福間中	項目	達成度	
		前期	後期
生徒	学校や家庭で決めたスマホ等の使用ルールを守っている。	B	→
保護者	お子さんに、学校や家庭で決めたスマホ等の使用ルールを守るよう話をしている。	B	→
教職員	生徒に、学校や家庭で決めたスマホ等の使用ルールを守るよう話をしている。	B	→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【結果・課題・改善】**

**【結果】**本年度は、生徒会が呼びかけている「スマホ共同宣言」を示しながら問う質問形式にしたため、SNS使用のルールがまだまだ守れていないことに気づき、3年生が特に低い結果となった。その反面、買い与えている方の保護者が高く、親と子のギャップを示している。

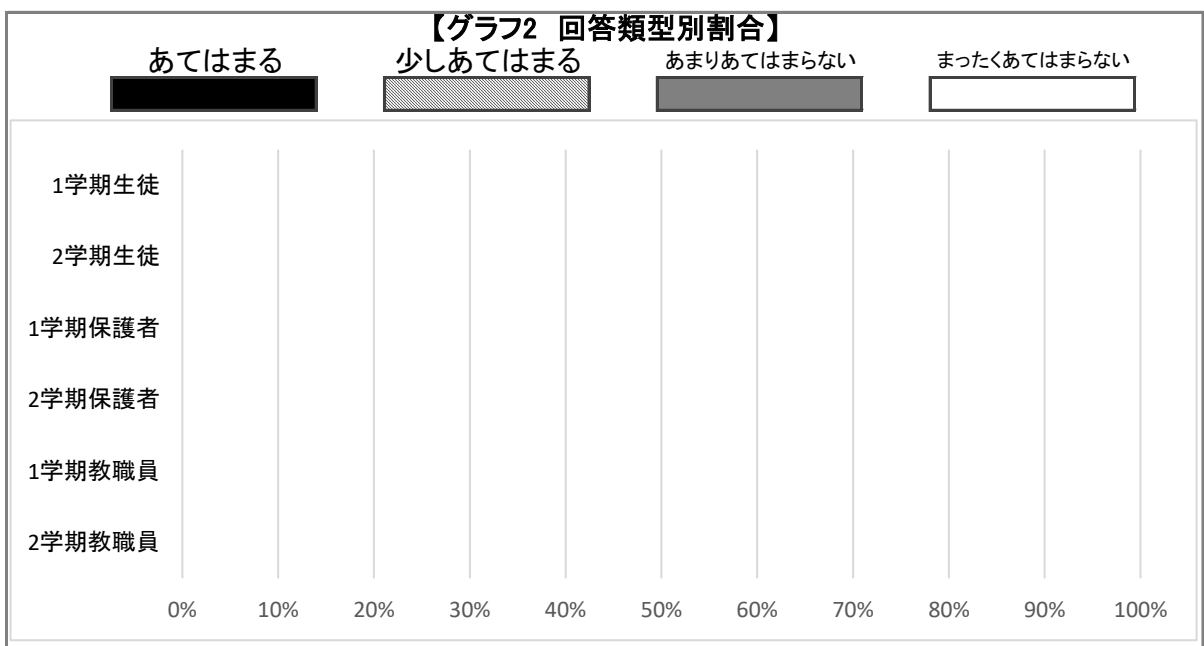
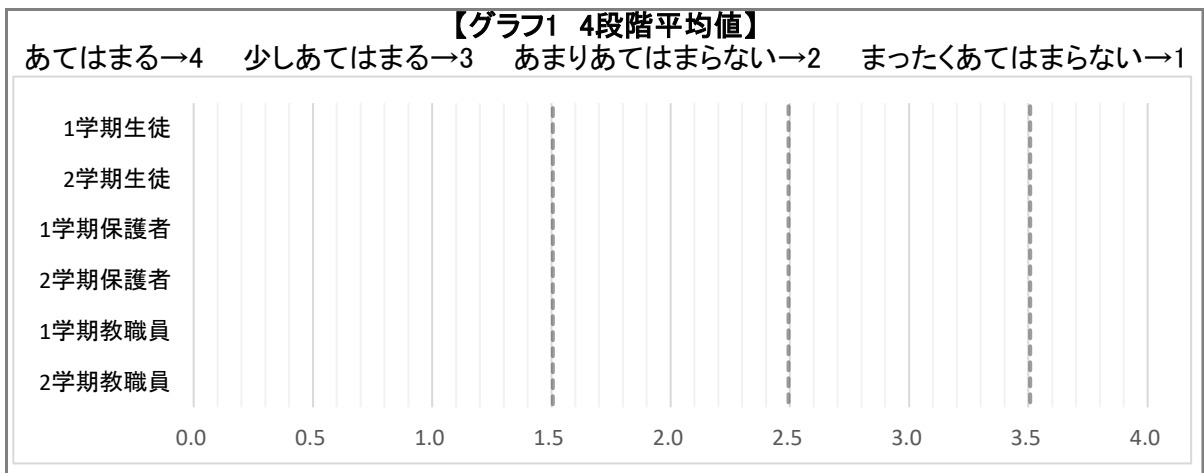
**【課題】**SNSトラブルを避けるスキルを身につけたことを実感し自信を得た上で、生徒たちがAの領域に到達できるよう、これからもSNSの使い方の学習を適宜行っていくことが必要である。

**【改善】**「スマホ共同宣言」が、生徒総会の時だけの呼びかけになっているため、常時目に触れるような掲示物を作り、校内に掲示したい。PTAの方で「スマホ共同宣言」を印刷したクリアファイルを作成し今年度中に配布予定で、使用マナーの啓発に役立てたい。

No	
福津市	
中プロ	

福間中	項目	達成度	
		前	後
生徒			→
保護者			→
教職員			→

達成度は【グラフ1 4段階平均値】が、3.5以上→A 2.5以上→B 1.5以上→C 1.5以下→D



**【考察】**